

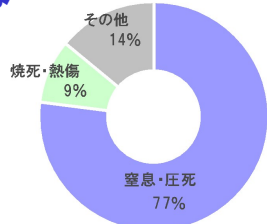
土浦市地域危険度マップ

問合せ先：土浦市都市政策部建築指導課（本庁舎4F）
 〒300-8686 茨城県土浦市大和町9番1号
 TEL: 029-826-1111(代)

地域危険度マップとは・・・

地域危険度マップは、地震による震度が「揺れやすさマップ」で示した震度となった場合に建物が全壊する割合を、約50m四方に分割した区画ごとに表したものです。

阪神大震災の死者のうち、約8割は建物、家具による圧死といわれており、生命・財産を守るためにも住宅の耐震化が重要です。



【阪神・淡路大震災の死亡原因】
 出典「阪神・淡路大震災調査報告 総集編」
 （阪神・淡路大震災調査委員会編集委員会 2000年）、
 厚生省大臣官庁統計情報部「人口動態統計から
 みた阪神・淡路大震災による死亡の状況（1995）より作成

地震に備えて

建物の耐震化

まずは、ご自宅の耐震性について確認してみましょう。次のような項目に心当たりのある住宅は注意が必要です。

- ① 建築年が昭和56年(1981年)以前のものである。
- ② 住宅が過去に大きな災害に見舞われたことがある。
- ③ 腐りや白蟻被害、傾きなどの建物の老朽化がある。
- ④ 平面形状、壁や窓の偏りなど住宅の耐震性に影響を及ぼしそうな要因がある。

1つでも気になる点があれば専門家に相談してみましょう。

土浦市では木造住宅の無料耐震診断をおこなっています。

【対象】昭和56年5月31日以前に建築確認を得て着工した2階以下の建物
 併用住宅の場合は、面積の半分以上が住宅として使われているもの
 過去にこの制度により耐震診断をうけていないもの等。

－詳しくは都市整備部建築指導課までお問合せ下さい。

地震に備えて

家具の地震対策

倒れてきた家具によってケガをしたり、逃げ遅れたりしないためにも、日頃から家具などの地震対策をすることも重要です。



大型の家電や家具は転倒防止器具で固定する。



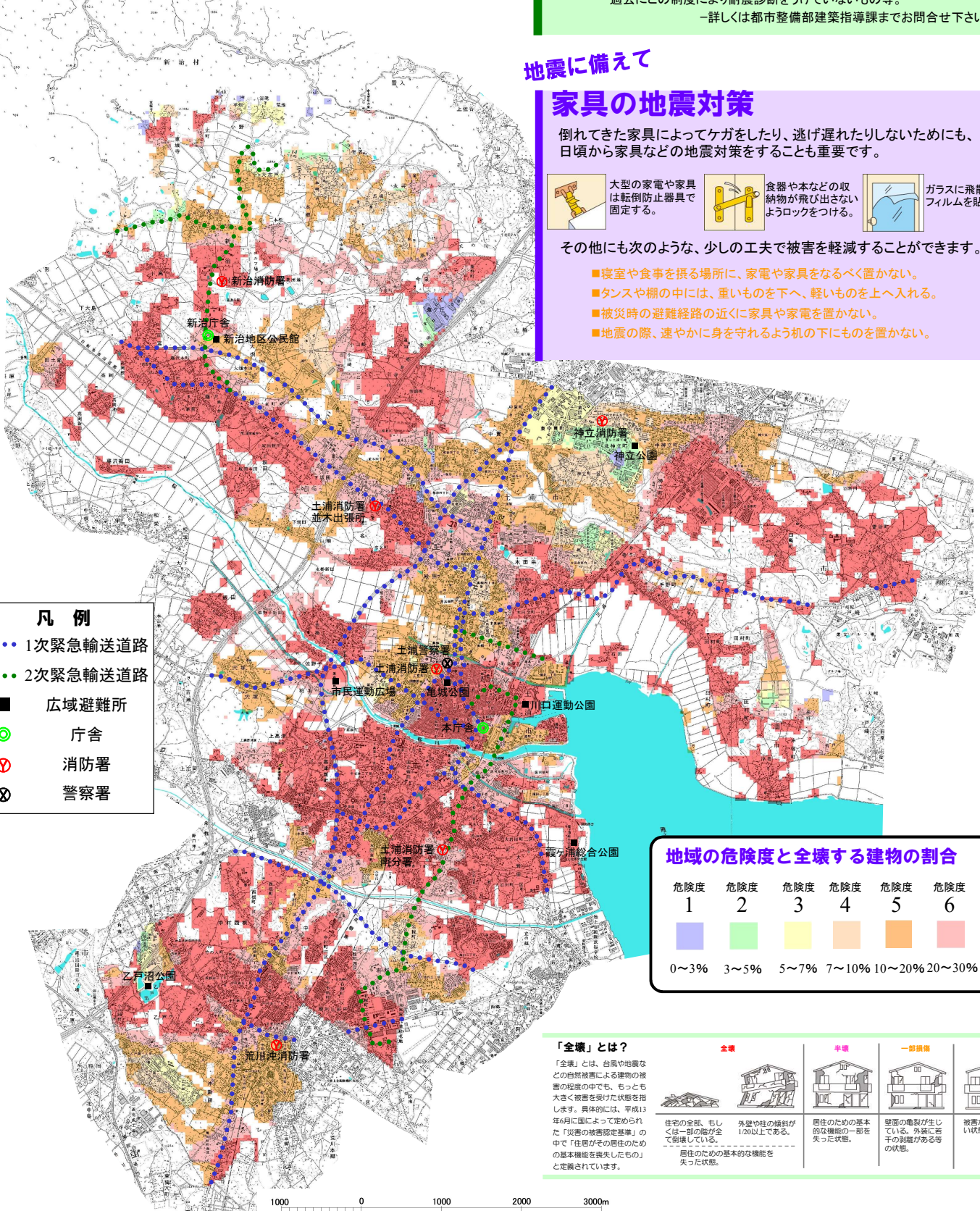
食器や本などの収納物が飛び出さないようロックをつける。



ガラスに飛散防止フィルムを貼る。

その他にも次のような、少しの工夫で被害を軽減することができます。

- 寝室や食事を摂る場所に、家電や家具をなるべく置かない。
- タンスや棚の中には、重いものを下へ、軽いものを上へ入れる。
- 被災時の避難経路の近くに家具や家電を置かない。
- 地震の際、速やかに身を守るよう机の下にもものを置かない。



凡例

- 1次緊急輸送道路
- 2次緊急輸送道路
- 広域避難所
- ◎ 庁舎
- ⊕ 消防署
- ⊗ 警察署

地域の危険度と全壊する建物の割合

危険度	危険度	危険度	危険度	危険度	危険度	危険度
1	2	3	4	5	6	7
0~3%	3~5%	5~7%	7~10%	10~20%	20~30%	30%~

「全壊」とは？

「全壊」とは、台風や地震などの自然災害による建物の被害の程度の中でも、もっとも大きく被害を受けた状態を指します。具体的には、平成13年6月に国によって定められた「災害の被害認定基準」の中で「住居がその居住のための基本機能を喪失したもの」と定義されています。

全壊	半壊	一部損傷	無被害
住宅の全部、もしくは一部の階が全て倒壊している。 居住のための基本的な機能を失った状態。	外壁や柱の傾斜が1/20以上である。	居住のための基本的な機能の一部を失った状態。	壁面の亀裂が生じている。外装に若干の剥離がある等の状態。
被害が生じていない状態。			